

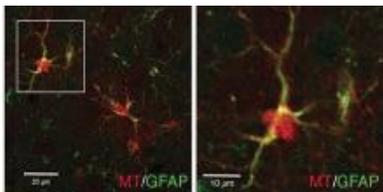
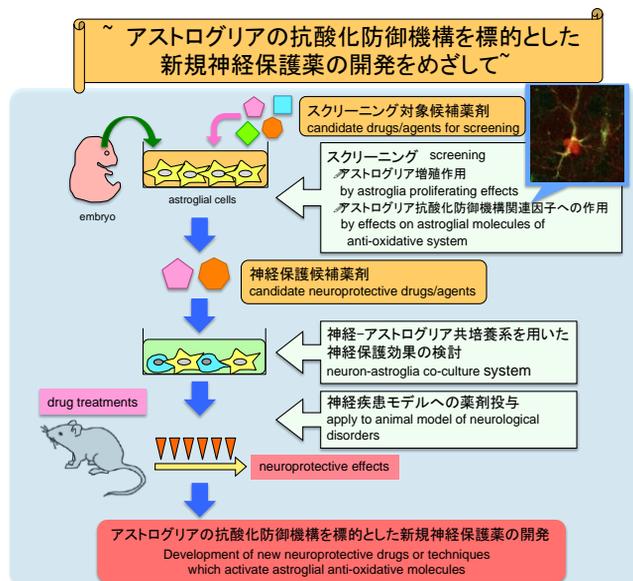


多角的な視点から神経の 保護・修復・再生を目指す！

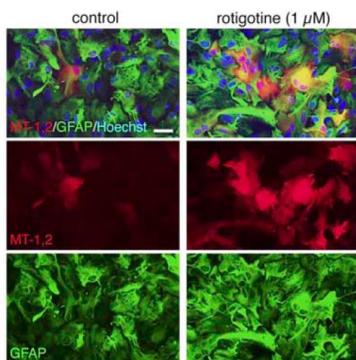


神経細胞の障害・変性とそれに対する保護・修復・再生方策を見出すことを目指し、神経変性疾患モデルの病態解析と新しい治療法の開発、グリア細胞の機能局在、神経外脳内環境の修飾、神経細胞分化に関わる超らせんDNA結合蛋白の機能解析といった多角的な視点からのアプローチで、基礎と臨床を繋ぐ研究を行います。

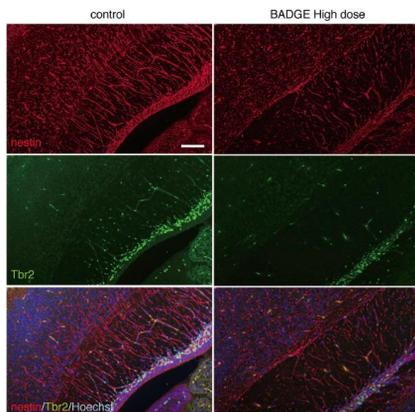
1. 神経外脳内環境を標的とした疾患モデルを用いた新規神経保護方策の開発
2. グリア細胞アストロサイトの部位特異的プロファイルがもたらす脳内環境と神経保護
3. 食品中に溶出する内分泌攪乱物質の母胎への曝露が産児脳発達に及ぼす影響
4. 乱用薬物(覚醒剤, 危険ドラッグ)の神経毒性と防御
<担当教員:教授 浅沼幹人, 講師 宮崎育子>
5. 神経細胞分化に関わる超らせんDNA結合タンパク質の分子機能解析
<担当教員:助教 細谷修, 宮地まり>



Miyazaki et al., GLIA, 59: 435-451, 2011.

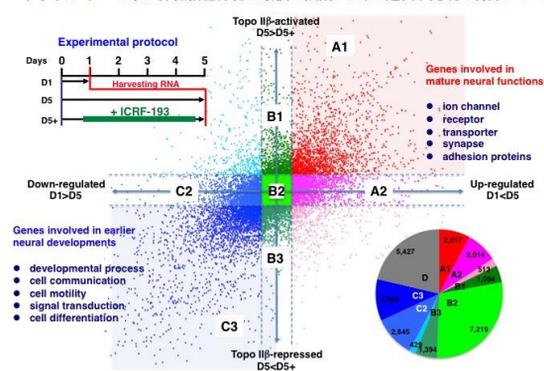


Isooka, N. et al., Neurochem. Int., 132, 104608, 2020.



Miyazaki et al., Food and Chem. Toxicol., 138: 111235, 2020

DNAトポイソメラーゼIIβは神経細胞分化の最後の段階における遺伝子発現を制御している



連絡先

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 脳神経機構学 浅沼幹人
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 総合教育研究棟4階
Tel: 086-235-7096 Fax: 086-235-7103
e-mail: asachan@cc.okayama-u.ac.jp URL: http://www.okayama-u.ac.jp/user/mnb